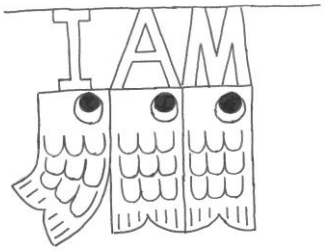
令和7年度　学校経営方針

伊勢崎市立赤堀南小学校



（こいのぼりは、本校の特色、地域連携のシンボルです）

今年度の重点

向上心をもって自律的に学ぶ子どもを育てる
ー自己肯定感の向上を通してー

1　学校教育目標　（教師サイド）

○　**夢や目標に向かって、共に認め合い高め合う、意欲・気力・体力のある子どもの育成**

・いつも夢や目標を持たせること。
・お互いを認め合い（支え合い）そして高めあえる、クラスを作ること
・意欲（やる気・主体性）、気力（努力や根気強さ、こだわり）、体力（健康・運動好き）を育てること。

2　目指す子ども像　（子どもサイド）

・思いやりのある子　・進んで学ぶ子　・運動を楽しむ子

3　目指す学校像

(1)誰もが　楽しく通える学校
(2)同僚と共に　働きがいのある学校
(3)学校・家庭・地域が　つながる学校

4　赤堀南小の目指す教師像

教師は子どもたちの未来に触れている

【情熱】やる気と意欲、教師としてのこだわりをもつ。
【挑戦】失敗を恐れず、新しいことへ挑戦する。
【協働】多様な意見や考えを柔軟に受けとめ、支え合う。
【共学】子ども・保護者・同僚から学ぶ。

5　教育計画の全体イメージ

「仲間」・「学び」・「健康・生活」・「連携」の4プランで取り組む。
それぞれのプランの中で、児童の自己肯定感を高めていく。

【仲間】プラン
・認め合い、高め合える学級活動の推進
・児童一人一人が活躍する活動の推進
・hyper-QU を活用した学級集団づくり
・考えを深める道徳授業の実践

【学び】プラン
・ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙﾃﾞｻﾞｲﾝを取り入れた学びやすい授業実践
・「ゴールの姿」を意識した授業実践
・授業の中での ICT 機器の活用
・主体的に取り組む家庭学習

自己肯定感の向上

【健康・生活】プラン
・気持ちのこもったあいさつや言葉遣い
・整理整頓され落ち着きのある学級・学校環境
・運動をしたくなる人と環境づくり
・安全教育（交通・災害）の徹底

【連携】プラン
・学校支援ボランティアの充実と活用
・地域とふれあい、学ぶ、南小フェスタ
・地域・外部人材等を活用したｷｬﾘｱ教育
・地域行事等への積極的な参画

6 本校の特色 ステージによる学校づくり

※ステージごとの目標を達成させて、次に向かおう。

（1）出会いと学びのステージ （4月～7月）
- ○ 児童と教師、児童同士の温かな人間関係をつくる。
- ○ 課題に真剣に取り組む、学び合う学級づくりをする。
- ○ 整然とした教室環境をつくる（ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙﾃﾞｻﾞｲﾝ）。
- ○ 自ら挑戦し、新しい自分づくりをする。

（2）身体と心づくりのステージ （8月～12月）
- ○ クラスの団結・協力・絆づくりを進める。
- ○ 思いやり・気配り・不撓不屈などの心づくりをする。
- ○ 進んで運動して、元気な体を作る。
- ○ 地域の文化に学ぶ。

（3）成長を確かめるステージ （1月～3月）
- ○ お互いの成長やクラスの成長を、認め、まとめ、ほめ、讃え合う。

7 伊勢崎市の学校教育方針との関連

仲間プラン 関連する伊勢崎教育アクション「豊かな心の育成」

（1）しなやかでたくましい心づくり

① 子どもの理解を基にした誰ひとり取り残さない支援の充実

☆「ほめる・認める・励ます」支援で、子どものよさを引き出し、自己有用感と互いを尊重する心を育むとともに、学級におけるルールとマナーを明確にします。

☆客観的な資料や専門家の助言から支援方針を検討し、児童理解と意図的な集団づくりに努めます。

② 自分らしさを表現できる場の充実

☆子ども達が主体的に関わる児童会活動・委員会活動・係活動・当番活動の推進をし、よりよい生活づくりについて主体的に考え、判断し、行動する実践力を育みます。

☆学期はじめに目標を設定するなど、子どもがなりたい自分を明確にして、向上心をもって追求していけるよう支援します。

☆いじめ、不登校、問題行動の未然防止のため、児童と向き合う時間を大切にするとともに、児童一人一人をより多くの教職員が見守れるよう組織的に支援します。

（2）温かい絆を育む心と心の関わりづくり

① 互いに認め合い高め合う温かい絆の醸成

☆当たり前にできていることを通してお互いのよさに気がつかせ、認め合える学級集団づくりをします。
☆子どもの目線で共感的に理解することや一人一人と触れあう日常会話を心がけることを通して、教師と子どもの信頼関係づくりをします。
☆インクルーシブ教育の考えのもと、個に応じたきめ細やかな支援を実践し、障害の有無にかかわらず、一人一人に適した環境をつくります。

② 共に成長する人と人との関わりの育成

☆子ども同士、子どもと教師の良好な人間関係を築くための、意図的・計画的な活動（学級活動での話し合い・道徳授業での規範意識の育成など）を実施します。
☆友だちの呼び方、温かい言葉、冷たい言葉等について学習させると共に、機会を逃さず言葉遣いの指導を繰り返していきます。
☆教え込む道徳、読むだけの道徳ではなく、授業の中で自己を見つめる時間を設け自ら考え、他者と対話し協働しながら、自分の生き方について振り返ることで考えを深める道徳授業の実践をします。
☆運動会や校外学習、赤堀南小フェスタなどの豊かな体験活動を通して、非認知能力の醸成を図ります。

学びプラン　関連する伊勢崎教育アクション「確かな学力の向上」

（1）学びを自己調整する力づくり

① 発達に応じた、自己決定、対話・交流、試行錯誤の場の充実

②「子供が主役の学び」を支える指導の充実

☆各自の実践を基にグループワークで検証する改善サイクルに則り、「主体的・対話 的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進します。
☆ICT 機器の活用を通して、児童の学びやすさや考えの共有を図り、活動が深まるようにします。
☆全職員での授業の参観と授業研究会の実施をすると共に、管理職による 意図的 ・計画的に授業参観を一人2回実施し、確かな授業力の向上を図ります。
☆NRT・全国学調・CRT の結果を学力コーディネーター・学年・研修主任で協力して分析し、各学年・教科部会において対策を検討します。
☆単元配列表を活用して、各教科の既習事項を結び付けた教科横断的な学習を実践します。
☆教科分担制や少人数による指導を取り入れ、より効果的な指導をすすめます。
☆日々の悩みや課題を中心としたメンター研修を意図的・計画的に開催し、解決に向けた助言・支援ができる体制を学校全体でつくりあげます。

（2）考え表現する力づくり

①「なぜ？」「なるほど」「もっとやってみたい!!」を引き出す学びの充実

② 自律した学習者を育てる指導の充実

☆授業を構想する際に「ゴールでの児童の姿」を明確にした逆算の授業づくりを実践し、基礎基本の確実な定着を目指します。

☆授業の中で、「課題をつかむ活動」、「対話的な活動」「学びを振り返る活動」などの活動の目的を明確に位置づけます。

☆学びのユニバーサルデザインを意識した授業の実践を通して、誰もが主体的に考え、理解し、表現できる授業の実践とともに全児童が授業の見通しが持てるように全校で同じ授業を組み立てます。

(3) 学びの基礎力づくり

① 情報を主体的に捉え、目的に応じて活用する「情報活用能力」を育む学びの充実

☆各教科等の授業の中で、子ども達が主体的に情報・整理・分析したり発信・伝達したりする活動を発達段階に応じて推進します。

☆関係機関と連携した研修やプログラミング教育を推進します。

☆情報モラル・セキュリティについて、基本的な事項の理解と共に態度を育成します。

☆情報活用能力推進部会を中心に、ICT 機器の活用を推進します。

☆全職員が児童と共に学びながら活用をしていきます。

☆ICT 機器を活用して情報活用能力を育成する軸となる教科の単元等を年間指導計画に位置づけます。

☆学校での活用状況等を各家庭と共有し、家庭と連携して児童の情報活用能力の向上に努めます。

② 必要感を大切にした言葉や数量に係る指導の充実

☆計算コンテスト・漢字コンテスト等の計画的な実施と朝のパワーアップタイムとの連携を図り、基礎基本の定着を目指します。

☆家庭学習が授業等に活かされる工夫を意図的に行い、児童が家庭学習に主体的に取り組もうとする意欲やスキルの育成を図ります。

健康・生活プラン　関連する伊勢崎教育アクション「生活や学びの基礎の育成」

○ 豊かに生きる健康・体力づくり

① 安全・安全を大切にした教育の推進

☆「早寝・早起き・朝ご飯」、歯磨き指導、性教育等を発達段階に合わせて計画的に実施することを通して、自己管理能力を醸成し、自らの行動に結び付ける子どもを育みます。

☆新しい生活様式に基づいた感染防止のための取組を通して、自らの健康の増進と生活の向上を目指して、仲間と協働して取り組める子どもを育みます。

☆組織的なアレルギー対策、熱中症対策を実施し、職員の危機管理意識を高め事故ゼ

ロを目指します。

☆学校内における安全教育を計画的に実施し、正しい知識と行動力を身につけることを通して、命を守るための適切な意志決定や行動選択の判断力・行動力を育成します。

☆児童の実態に応じた月ごとの目標を各委員会が設定し、児童が中心となって課題を解決します。

② 望ましい生活習慣の確立と健康な体の育成

☆「いせさき未来力向上スキル」における『あいさつ』『整理整頓』のスキルを教師と児童と共に実践し、気持ちよく過ごせる子どもを育みます。

☆体育授業において運動量を十分に確保して、運動の楽しさやできる喜びをともに味わえる指導の工夫をします。

☆運動をしたくなる環境づくりをすすめます。

☆担任との遊びを通して、体を動かす楽しさを伝えます。

連携プラン　関連する伊勢崎教育アクション「共生社会を創る力の育成」

(1) 未来へ向かう力づくり

① 一人一人の夢や希望を実現するキャリア教育の充実

☆各学年の課題や発達段階に合わせた「未来力」学習講座を通して、新たな発見や経験を積み重ねます。

☆自分の生き方を考え、将来の夢や希望の実現のためにも、計画的なキャリアパスポートの活用を通して、日々の生活や学習に意欲的に取り組む子どもを育みます。

② 専門性の高い人材、地域の人材などの本物にふれる学びの充実

☆いせさき教育アンバサダーやカリキュラムパートナーなどと連携し、将来の夢や希望を描き、実現に向けて自分で考えて行動できるようにします。

(2) 地域とつながる力づくり

① 子どもの大人も互いを認め合う地域連携の充実

☆ふるさと伊勢崎に誇りや愛着心が持てるように、ふるさと学習の計画的・継続的な実施とともに赤堀学府の取組を推奨します。

② 地域の行事や公民館事業を通した多様な人との交流

☆学校運営協議会と連携して、地域・保護者の教育力を結集し、学校支援ボランティアを充実させます。

☆学校・家庭・PTA が連携して、地域社会に目を向けさせ、地域への愛着や誇り地

域の将来を担う志を持ち、地域住民とつながりを深められるようにします。

☆地域の中の一員としての自覚を育むために、**地域行事や公民館事業への積極的な参画の推奨をします。**

8 安心安全で信頼される学校づくり

（1）安心・安全な学校生活

☆学校生活の中で危険な行動について、どのようにすればよいか学級活動の中で考えるようにします。また、委員会からの発信ができる掲示板を作り、子ども たちが自ら気付き、考えられるようにします。

☆組織的な体制で安全点検・アレルギー対応などに対応し、担当や担任だけに任せるのではなく、複数の目や違う視点からも見られるようにします。

☆職員研修にシミュレーション研修を取り入れ、教職員の安心・安全に対する意識の向上を図ります。

☆児童一人一人に、より多くの教職員が関わり、組織的な対応ができるように生徒指導部会・教育相談部会を中心に進めます。

（2）保護者・地域との連携

☆保護者や地域の方と連携・協働をして子どもたちの安全が確保できるように、学校の取り組みを積極的に発信し、地域との情報交換を密にします。

☆保護者との良好な関係作りのためにも、細やかな連絡を入れる。初期対応を大切にするためにも「生徒指導等報告シート」を活用して報・連・相を徹底し、組織的な対応をします。

（3）服務

☆服務確保規律委員会を中心に、服務に関する定期的な研修を実施すると共に教職員同士が気軽に相談ができるような環境をつくるためにもメンター研修や各部会の活動を計画的に設定し同僚性を高め、風通しのよい環境をつくります。

☆教職員が健康で質の高い教育活動や職務を遂行するためにも、管理職、学年主任、養護教諭との情報交換を密にし、職員一人一人の心身の状態の把握に努め、ワークライフバランスに気をつけます。